蓮花

語

ヲ

Ė

タ

Æ

j

ダ

ŀ

謂

ラ即

チ =

小野蘭

山ノ大和本草批正ニ

信

大和

本草 ケ

ニ「京畿

ジノ小兒

レヲレ

ンゲ

゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚

下云」ト

アル

然

=

デアル

即

チ

南方草木狀ニ

「南人葦ヲ

編デ筏

ト爲シ小孔ヲ作リ水上ニ

浮ベ子ヲ水中ニ

 ν

が則チ萍

1

如 畫

ク

根

水

倫

形象名

ナラン歟和

漢三才圖會所

載

水中

Ė

浮ベタ

ル簣上ニ簇生

≥⁄

ダ

w

圖

原

ŀ

支那

書

基イ

テ

タ

Æ

 ν 面

ガ

菜

那

力影響」ト云フ論文中ニ「ウムツアイ(蕹菜)字ノ唐音ノ訛リナリ。 云ハズ」トナスベキデアル蕹菜ハ學名ヲ Ipomoea aquatica, Forsk.ト云ヒ (番杏)トモイフ」ト書イテ居ルノデ見テモ分ル是ハ申ス迄モナク 例 ヲ 舉 ν 史學 雜 誌第 廿五篇第七號 = 於テ文學 土 中村久四 郎 或ハ宇牟 「蕹菜 ひるがほ科ニ屬シ番 通ッ世 名ツル 伊ィ那 ナ(蔓菜)トモ云 H 本 カクの薩菜ハー名ッ 文化 杏 及 學名ヲ Tet-ボ Ŀ **≥** 番杏 タ w ŀ jν

通常之ヲ審杏ト書 ragonia expansa, Arr.ト稱シ本邦各地ノ海濱ニ自生シ或ハ食用トシテ栽培 ノ故其 枝ヲ水中ニ スレドモ是ハ番杏ト書クノガ正シイ事 捕七 バ直ニ白色 7 鬚根ヲ發出スルヲ以テ清異 質問本草ヲ繙ケバ直ニ分ル、 錄 ペニハ龍! セ ラル 鬚菜 1 つるな科 ノ名ガ 又灩菜 アル ブ植 蓋 ハ生活 物 **≥**⁄ 水 デ ア 力 jν 世人 服キ モ

國番船以甕盛之」ノ句ヲ引用シテ居ル荆州府志ノ甕菜ハ此栽培法ニ因ミシ 支那 現在横濱ニ於テ畑ニ栽培セラレ 浮ブ長 ニ舌皷ヲ テノ水中培養法 ズ 打セットアルノデアル ルニ及ンデ莖葉皆章筏 ピノ 一 デア jv , ゚゚゚゚゙゚゚゚ 甘藷ノ如ク地面ヲ蔽 ノ孔中ョ シテ横濱ノ支那人ハ之ヲ 又甕菜ノ異名ガ リ出デ水ニ隨テ上下ス南方 と一個 アル 成形 Wong 經濟 圖說記者 植 Tsei 物 ・奇蔬 名稱 ŀ ハ金薯傳習録 ŀ シテ年 呼ンデ居 チリー ナラン敷、 々種子ニ 文漢 種 ナド 中ノ 其 テ 「蕹菜」 ` 何 播 記 ν シ サレ = テア 本 ス 在 夷 ル 古 ガ モ 是

〇げんげばな、附からすのゑんどう

富

牧

太 郎

いれんげばな一名げんげばなノ名下ニ「京 ルニ普通 = 呼ン デげ んげばなト稱 ス jν 譯

んげばな、 附からすのゑんどら

汳 花

≥ ŀ

テ

呼ブ内ニ自然ニ音便ニョッ

云

フ

事ヲ諱

L

ナ

ر _

ŀ

注シ

テ

アル

是レ 果シ

んげばな、 附からすのゑんどう

翹 搖 (植物名質圖考、卷ノ四、蔬類ニ出ヅ)

(縮圖

sinicus

L = A

lotoides Lam.)デアル

元來

デ

1 、支那

゛デア

galus ノデア 二出 李 デハンヲ イ然シ陸中陸奥邊デハ氣候ガ寒イカラ能ク生育シ ル通常種子(げんげ種ト稱シテ賣買スル)ヲ田面ノ原産デ我日本へハ往時同國カラ入リ來ッタモ ŀ ·聞イ

'テ居

翹搖

同書卷 jν

ノニ十七、 ノ名ハ本草拾遺

菜ノー、

柔滑類

ご收メ

著者

三始

メ テ

出

. デ本草

Ż,

又紫雲英

漢名

ガ

アル

バガ是レ

ハ芥子園

畫

傳 オ

7

ガ又往々野生

ノ狀態トナッテ居ル處ガ

办

ク 播

テげんげばなト變ジ テ肯綮 アル タノカ或ハ コク = 中ッ 後 ト思フ、 テ居 デ解ヲ附 本來 N ソ 説 シテ此草ノ漢名ハ翹搖デ學名 ୬ ガ デア タ Ű ノカ是レハ再考ヲ要ス ラウ Ĺ んげばな 力 或 デれ n んげば んげば な なヲ兒 jν 學者ガ賢 問題 Astra 女 ガ

ゑんどう等 ル時 時 此 ジ四、 珍 一翹搖ヲ 耕轉シ ŀ 之ヲ ラ總稱 文漢 小記 Ó テ田 「處 類 アル條 ゑんどう(からす ヤニ)トシテ居ル ₹⁄ テ居 壅ァ故ニ 薛田ガ詩ニ云ク デ翹搖ヲれんげばなト 皆アリ蜀人秋 jν 小野巓山ノ本草綱 ガ是レハれんげばな のゑんどう、すゞめ = 種キ春 テ圖 / 剩種 = 釆ル 目 啓 豌 老

ス べ

ガ

本當 爾

デ

ケ

 ν

即

チ植物名實圖考デ

搖 キ

雅

柱夫 ナ

搖 ٦\^p

車 ナ ラ ÷

リ注 ヌ

ニ蔓生細葉紫華食フベ

ク今俗ニ

呼ン

デ翹

車

ŀ

日

フ

ŀ

ア

N

モ

=

≥⁄

テ

翹搖車 罽

Ļ

呼ブ蔓生紫華、

華翹起シ搖動ス因テ名クト

ダ テ

トカ

ノ草態ヲ形容シタ文字ガ載ッテ居ル、爾雅邢房ノ疏ニハ「柱夫ハ食フベ

アル 北 テ

又同書 亦呼

「此物獨

別リ嫵媚

ニシテ枝葉花態詩中ノ書

二 文漢

ダトカー

隙地福

ネ ŀ ŀ

ホク 生ジ ノ草

紫蕚綠莖天然

ナ

ý —

名搖 ふれ

樓 キ

救荒

譜

デ

んげばな

遺

始

メ

錄

ス

吳中ニ之ヲ

野蠶

豆 淮

ŀ

謂

フ 江

西

種キ

テ以

ラ田 ホ

=

肥

シ

ス

、之ヲ紅

湖

ンデ翹翹花ト日フ

ノ南北吳下

ラ郷人

尚

以テ疏ト爲ス云云」英

記

୬ フ其

且ツ

前

頁

= IV

掲ゲ

タ圖 ラ以

子

ヲ

賣

升

(129)二第誌 雜究研 稻田 ヲ階ム 翹遙 コト 賣リシタノカ今其邊ノ事ガ私ニハ分ラナイ同翁ハ救荒野譜ニ據テ之レニ碎米薺ヲ充テヽ居ルコ 同譜ノ「食葉」ノ文字モ 本草ニハ ン之ヲ食 又紫荷花草並 名ヲ碎米齊トシ「食葉」ト註シ又「三月采止可作靈」 ŀ ハ其莖葉柔婉ニ ノ中ニ生ズ吳地ニ **菓菜、** 屈菜、 ガ能ク記シテアルガ我邦デハ普通ニ 因テ之ヲ元修菜ト 看取セラル、多分是レハ 翹搖車、 ラ佳 + 「其葉ワカキ時食ス」ト書イテアル或ハ九州邊デハ食フ處ガアルノカ又ハ貝原翁 , 羹 モ出テ居 翹翹車、 ニ敷地錦(俗名飯花)モ亦又其異名デアルラシイ、本草綱目ニ李時珍ガ翹搖等ノ意味ヲ釋テ「翹搖 ŀ シテ翹然飄搖ノ狀アルヲ言フ故ニ名ク蘇東坡ガ云ク菜ノ美ナル者ハ蜀郷ノ巢ト故人巢元脩之 元修菜、臭虫豆、 作シテ尤モ美ナリ」薬トロッテ居ル、 Æ 「可作虀」ノ文字モ疾ニ識ラレテ居ルハズデアル、翹搖ニハ多數ノ別名ガア 翹車、 亦多シー名ハ漂搖草一名ハ野蠶豆ナリ油 謂フ陸放翁 jν ガ之ヲれんげばなダト 搖車、 Gueldenstaedtia multiflora Bunge. ガ詩ノ序ニ 紅花菜、 漂搖車、漂搖豆、 ハ其葉ヲ食フコトガナク唯之ヲ田 鐵馬豆ハ皆其レデアル又、碎米薺、紫雲英モ亦別名トスベキ 云ク蜀蔬 ス jν 云フ」英ト記シテ居ル、又王西 漂搖菜、苕、苕搖、 ト記シテ居ル此様 ニ兩巢アリ大巢 ハ非デアル今其圖ヲ注視ス 救荒本草卷 デ ヲ以テ之ヲ煤シ綴 ハ ノ七二米布袋ト稱ス ナ 1 即チ豌 力ト **苕饒、旨苕、柱夫、野蠶豆、** 支那ニテハ蔬 肥料ニスルノ 思 豆 iv 二米糝 質ラザ 直チニ ル草ガアッ が対只 3 ŀ 序ニ ル者ニ デア ナシテ其葉ヲ ヲ以テス草花 文那 别 トカラ考フレ 日 種 w ĵν アガ然シ テ植物 ハノ説ヲ シテ小 フ 即チ翹饒 植 ガからす 大和 ・受ケ 食フ 卜名 デア 小巢

んげばな、 附からすのゑんどら

う(伊吹野豌豆)ト之ヲ新稱シタイト思フノデアル

春ノ七草

中ノほとけ

のざい

今日謂

ラ所

ノ唇形科

ノほとけのう (Lamium amplexicaule L.)

本草家ノ謂ユ

デ謂フ稻槎菜デナケレバナラヌコ

たびらっ

かト 出

ディ

若菜ヲ摘メバ是非トモ

ŀ

トシテ古人

極

うヲ

(130)ハ今日其草木圖説ノ説ニ從フテ此兩種ヲ認メテ居ルガ然シ今之ヲ正ニ反セバ宜シク今日謂フ所ノやはずゑんどテアルノミナラズ本草綱目啓蒙デ謂フからすのゑんどうヲ特ニやはずゑんどうトシテ別ニ記シテアルョリ吾人 ニ飯沼慾齋ノ草木圖 稱シすずめのゑんどうハ薇ト稱スル フレバ今日 ゑんどう(江州 吾人ノ謂フ所ノやはずゑんどう即チ 川伊吹山 說 ニハ此 ŧ ノデ |からすのゑんどうノ名ヲ彼ノ江州伊吹山ニ生ズル ハナク今日吾人ノ稱スルやはずゑんどう) 元來からすのゑんどうト云フモノハ小野蘭山ノ本草綱 Vicia sativa L. デナケレバナラヌト ハ支那 Vicia sepium デ ۱ر 野豌 思フベ 豆 キ理 目啓 即 ノ和名トシ 蒙っ チ 由 ガアル然 據ッ

の七草ノーデアルほとけのざニ就テノ私ノ主張

〇春ノ七草ノーデアルほとけのざニ就テノ私ノ主張

ヲ以テ吾人ハ止ムヲ得ズ今別ニーノ和名ヲ定メテ其種ヲ呼バネバナラナイ立場ニ逢着スル乃チいぶさのゑんど

バからすのゑんどうト呼ブベキデアル若シ斯ク處理シタ時ニハ玆ニ伊吹山品

ハ忽チ其

名ヲ失フコト

ナル

野 富 太 郎

即チ寶蓋草、

日本

ル元寳草デハナク其レハきく科ニ属スルておにたびらて(Lampsana apogonoides Maxin.) トヲ私ハ主張スル、 其レ故七草デい此ておにだひらてヲほとけのざ 即チ支 佛

同時ニ又たびらて(田平子)デアル即チ我邦ノ或ルニ三ノ地方デハ土人ガ之ヲたびらて或ハたびらって或 呼ンデ現ニ食用ノ野蔬 メタ通り用ウベキデア jv \ 叉此 ておにたびらてハ其 本営ノ名 1、右 ラ如 ク昔ノほとけ のざぎ

トナシテ居ル處ガアル背之ヲ春ノ七草ノ中へ加へタノハ真 探者ガ見逃シ難イ狀態ノ下ニ其小ク平タイ 嫩苗ヲ此處彼 處 三宜 プ田 ナ 面